

茶有望品種「なごみゆたか」の特性					
[要約] 本県における「なごみゆたか」の特性は、煎茶および釜炒り茶品質とも良好で、輪斑病抵抗性が強い、「やぶきた」より2～3日遅い中生品種である。					
佐賀県茶業試験場 茶樹研究担当				連絡先	0954-42-0066
部 会 名	茶業専門部会	専 門	栽培	対 象	茶

[背景・ねらい]

系統適応性検定試験第10群から「なごみゆたか」（旧系統名「宮崎27号」）が品種出版公表されたので、普及の参考とするため本県への適応性を示す。

[成果の内容・特徴]

1. 萌芽期および摘採日は、「やぶきた」より2～3日遅い中生品種である（表1）。
2. 収量は、一番茶および二番茶ともに、「やぶきた」よりやや少ない（表2）。
3. 荒茶品質は、一番茶では「やぶきた」および「おくみどり」と同等で、二番茶では「やぶきた」より優れる（表3）。
4. 釜炒り茶品質は、「やぶきた」および「みねかおり」と比べて、一番茶は同等で、二番茶は優れる（表4）。また、穀物を炒った様な香りを呈する。
5. 炭疽病およびクワシロカイガラムシにはやや弱く、輪斑病には強い（表5）。

[成果の活用・留意点]

1. 独特の香気を活かした釜炒り茶生産に適している。
2. 炭疽病多発条件では防除が必要である。
3. 苗の購入は、許諾を受けた育苗業者から行い、またミカントゲコナジラミ（チャ系統）発生地域からの導入は行わない。
4. 品種の詳細な特徴の問い合わせ先
農研機構 野菜茶業研究所 <http://vegetea.naro.affrc.go.jp>
5. 施肥管理
定植活着後、被覆肥料でN:P₂O₅:K₂O=27.4:23.5:27.4 (kg/10a)を施用し、3年目以降はN:P:K=50:20:24(kg/10a)を3年生で55%、4年生で70%、5年生で85%、6年生以降100%の割合で施用した。

[具体的データ]

表1 一番茶萌芽期および摘採日

品種	2007年		2008年		2009年		3カ年平均	
	萌芽期	摘採日	萌芽期	摘採日	萌芽期	摘採日	萌芽期	摘採日
なごみゆたか	4.11	5.7	4.9	5.4	4.1	4.22	4.7	5.1
やぶきた	4.8	5.3	4.6	5.4	3.26	4.22	4.3	4.30
おくみどり	4.15	5.8	4.15	5.7	4.9	5.1	4.13	5.6

表2 生葉収量

(Kg/10a)

品種	2007年		2008年		2009年		3カ年平均	
	一番茶	二番茶	一番茶	二番茶	一番茶	二番茶	一番茶	二番茶
なごみゆたか	207	146	282	272	193	335	227	251
やぶきた	230	157	217	306	280	360	242	274
おくみどり	248	231	249	394	376	464	291	363

z: 2007年は定植5年目に当たる。

y: 畝間180cm、株間30cmの単条植え。

表3 普通審査法による荒茶品質(蒸し製法)

品種	一番茶						二番茶					
	形状	色沢	香気	水色	滋味	合計	形状	色沢	香気	水色	滋味	合計
なごみゆたか	7.2	7.8	8.8	8.8	8.7	41.3	5.2	5.2	5.7	6.2	6.0	28.3
やぶきた	8.2	8.2	7.8	7.8	8.0	40.0	4.7	4.7	4.3	5.0	4.5	23.2
おくみどり	8.7	8.8	8.8	7.3	7.5	41.1	5.8	4.8	5.2	5.5	5.3	26.6

z: 2007～2009年の平均値、各項目10点、合計50点満点での評価

表4 普通審査法による荒茶品質(釜炒り製法)

品種	一番茶品質(各項目20点)							二番茶品質(各項目20点)						
	形状	色沢	香気	水色	滋味	内質 合計	審査 合計	形状	色沢	香気	水色	滋味	内質 合計	審査 合計
なごみゆたか	15.5	15.5	16.5	15	16.5	48	79	13.5	13.5	15.5	14	14.5	44	71
やぶきた	16	16	16	16	16	48	80	13	13	14	14	14	42	68
みねかおり	17	17	16	16	15.5	47.5	81.5	14	14	13.5	13	13.5	40	68

z: 2009年度データ。

表5 病害虫発生程度

品種	炭疽病	輪斑病	クワシロカイガラムシ
なごみゆたか	2.0	1.0	2.0
やぶきた	3.3	2.0	2.7
おくみどり	3.3	1.0	2.7

z: 2007～2009年の平均値、(無)1～(甚)5。

y: 殺菌剤散布およびクワシロカイガラムシ防除は無し。

[その他]

研究課題名：優良品種導入のための県内適応性検定及び栽培法の確立

予算区分：県単

研究期間：2001～2022年

研究担当者名：中村典義・徳重憲治・釘本和仁・東島敏彦・山口史子

発表論文等：茶業試験研究成績・計画概要集（2003～2009年）